

第2回 ポリナビワークショップin栃木～仲間・夢・未来～を終えて

栃木県看護連盟青年部では、平成23年5月21日に“第2回 ポリナビワークショップin栃木”を開催し、県内各施設より約200名の参加者が集いました。

今回は、『仲間・夢・未来』をテーマに、ワークショップを行いました。

講演は、自治医科大学附属病院看護部 緩和ケア認定看護師である小松崎香先生より「私と緩和ケア」をテーマに御講演頂きました。我が国では、死因の第一位が‘がん’であり緩和ケアの需要は高まっています。がん患者の特徴、緩和ケアのあり方、看護師の役割について学ぶ、良い機会となりました。

また、前回好評でした「ユニフォームコレクション」を行いました。病棟の特殊性や機能性を考慮した、様々なユニフォームを見ることができ、今回も好評を頂きました。

グループワークにおいては、「ナース川柳」と題し、日々仕事をしている中で思ったこと、感じたことを率直に話し合ってもらい、その想いを川柳にのせて発表してもらいました。活発なグループディスカッションの後、看護師であれば誰もが共感できる喜びや感動、愚痴などが盛り込まれた、31句の川柳が発表されました。

今までは、他病院の若手看護師と話し合う機会が余りありませんでしたが、これからはポリナビワークショップや研修会を通して、様々な人と出会い、話し合える機会を作っていきたいと思います。たくさんの若手会員の皆様に連盟活動に興味を持って頂き、看護の明るい未来を作り上げていけるよう、情報発信していきたいと思っています。

栃木県看護連盟青年部メンバー古山 実紀



小松崎 香先生



グループワーク



ポリナビ実行委員
左より 滝口 貴大・高木慎一郎・古山 実紀

OB会
発足の
お知らせ

OB会実行委員に就任して



OB会実行委員
後列：中央左より 中山 知子OB・落合 信子OB
前列：左より 谷口 静江OB・武井 正子OB

去る7月12日（火）、看護研修センターに於いて第一回OB会を開催しました。伊藤県連盟会長、坂主副会長、直井幹事長同席の元、私達実行委員、武井正子、山中知代子、谷口静江、落合信子の4人の顔合せです。

この会の主旨は現役を退いたOBも連盟活動に協力できるとの考えから全国的に運動を広めていこうとするものです。会の目的は、①OB会員相互の親睦を図り、看護連盟活動に協力すること。②看護連盟の目的達成（看護の代表を国政に送ること）に寄与することです。

若い人達のポリナビパワーに負けないよう、今迄の経験や知識、人脈をフルに活用してオールパワーを発揮していきたいと思っています。2年後には参議院議員選挙があります。看護の代表候補者が決まればよいよ私達OB会の活動開始となります。それまでは情報把握に務め、来たる日に備えておきましょう。看護の環境改善に向けて私達OB会も及ばずながら力を尽したいと思っていますので、この主旨に賛同する方はぜひ私達と一緒に活動しましょう。OBの皆様のご協力をよろしくお願い致します。（落合 信子 記）